

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: Instant Glue Activator (瞬間接着剤硬化促進剤)
会社名	: 中央樹脂ケミカル株式会社
住所	: 東京都台東区鳥越1-29-6
担当部門	:
電話番号	: 03-3851-2324
FAX 番号	: 03-3851-2324
緊急連絡先	:
用途	: 瞬間接着剤硬化用スプレー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 可燃性・引火性エアゾール	区分 1
健康に対する有害性	: 生殖毒性	区分 2
	: 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分 3 (呼吸器への恐れ、眠気又はめまいの恐れ)
	: 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分 2 (血液)

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H222 : 極めて可燃性・引火性の高いエアゾール
 H361 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 H336 : 眠気またはめまいのおそれ
 H335 : 呼吸器への刺激のおそれ
 H373 : 長期または反復暴露による血液の障害のおそれ

安全対策 : P210 : 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P211 : 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
 P261 : 使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
 P203 : 使用前にすべての安全説明書を手し、読み、従うこと。
 P260 : ミスト/蒸気の吸引しないこと。
 P261 : ミスト/蒸気の吸引を避けること。
 P271 : 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 P280 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置 : P318 : ばく露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求めること
 P319 : 気分が悪い時は、診察を受けること。
 P304+P340 : 吸引した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管 : P410+P412 : 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。
 P403+P235 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 P405 : 施錠して保管すること。

廃棄 : P501 : 内容物/容器を都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : アセトン溶液

化学名	化学式	含有量(%)	CAS 番号
アセトン	CH ₃ COCH ₃	29～39	67-64-1
アミン化合物	非公開	0.1～1	非公開
噴射剤	プロパン	CH ₃ CH ₂ CH ₃	1～10
	n-ブタン	CH ₃ CH ₂ CH ₂ CH ₃	30～40
	イソブタン	CH(CH ₃) ₃	10～20

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受ける。呼吸が不規則か止まっている場合は人工呼吸を行なう。嘔吐物は飲み込ませないようにする。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布ですばやくふき取り、大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナー等は使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で瞼の裏まで最低15分以上洗う。医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口を洗い、直ちに医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
- 特定の消火方法 : 可燃性の物を、周囲から速やかに取り除く。指定の消火剤を使用すること。高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。消火作業は風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は適切な保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分取る。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には保護マスク、保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
- 環境に対する注意事項
除去方法 : 公共水域への排出、または地下浸透を防止し、環境への影響をおこさない注意する。漏洩物は密栓できる容器に回収し、安全な場所に移す。乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。振とうすると内容物が噴射する恐れがあるので注意して取り扱う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 適切な保護具（暴露防止及び保護措置の項を参照）を着用すること。
換気の良い場所で取り扱う。
着火源の周辺での使用を避けること。
容器はその都度キャップ(ストッパー)または密栓する。
周辺で火気、スパーク等の着火源となるものや高温物の使用を禁止する。
工業用品は静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
工具は火花防止型のものを使用する。
エアゾール製品の場合、30秒以上の連続使用をしないこと。(但し、連続噴射式製品を除く)
密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気を設け、適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : 目への刺激性があるため、目に触れないように注意する。
眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。
作業中は、帯電防止の作業着、靴を使用する。
- 安全取扱い注意事項 : 取扱い場所周辺は蒸気が滞留しないよう換気に配慮し、火気厳禁とする。
使用済みのウエスは、廃棄するまで水に漬けておく。
火気のある所では取り扱わないこと。
40℃以上の所では取り扱わないこと。
40℃以上に暖めないこと
取扱い後は良く手を洗うこと。
炎に向けて使用しないこと。

保管

- 技術的対策 : 容器を密閉して保管する。火気厳禁とする。
- 混触禁止物質 : ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸性物質との接触、同一保管を避けること。
- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、通気の良いところに保管する。(40℃以上の所で保管しない。) 子供の手の届かない所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 暴露限界値 : アセトン 500ppm ACGIH TLV-TWA
プロパン 1000ppm ACGIH TLV-TWA
n-ブタン 1000ppm ACGIH TLV-TWA
- 設備対策 : 室内で取扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置することが望ましい。または、蒸気が滞留しないように十分な措置を施すこと。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 簡易マスク。有機ガス用の呼吸器保護具。
- 手の保護具 : 保護手袋(耐溶剤性)。
- 目の保護具 : 保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖、長ズボンの作業服、保護用前掛け、保護帽、保護靴。
- 衛生対策 : 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。
使用後は手洗い、洗眼、うがい等を行なう。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 形状 : 液体
- 色 : 無色～淡黄色(硬化剤)
無色(噴射剤)
- 臭い : 特有の刺激臭(硬化剤)
無臭(噴射剤)
- 融点 : -94℃ (アセトン)

沸点	: 56°C (アセトン) -42~-0.5°C (噴射剤)
可燃性	: あり
引火点	: -18°C (アセトン) -104°C (噴射剤)
発火点	: 570°C (アセトン) 287~450°C (噴射剤)
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘粘性率	: データなし
溶解度	: 水に可溶 (アセトン) 水に不溶 (噴射剤)
オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: 24.7×10 ³ Pa(20°C) (アセトン) 0.29MPa(20°C) (噴射剤)
密度及び/又は相対密度	: 0.565g/cm ³ (20°C) (噴射剤)
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10.安定性及び反応性

安定性	: エアゾール製品の場合、40°C以上になると缶が破裂する恐れがある。
特定条件下で生じる危険な反応	: 無水クロム酸、過塩素酸ナトリウム、塩素酸ナトリウム、亜塩素酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、過酸化水素、硝酸、硝酸アンモニウムなど強酸化剤と激しく反応し、火災、爆発の危険性をもたらす。
避けるべき条件	: 着火源。酸化性物質との接触。
危険有害な分解生成物	: 燃焼等によってCO ₂ 、CO及びNO _x を発生する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性	: 経口 [アセトン] LD ₅₀ >5,000mg/kg (ラット) 経皮 [アセトン] LD ₅₀ >5,000mg/kg (ウサギ) 吸入 [アセトン] LD ₅₀ >78.5mg/L (ラット) 吸入 [n-ブタン] LD ₅₀ 685mg/m ³ (ラット)
皮膚腐食性・刺激性	: [アセトン]ウサギ皮膚に対して刺激性なしとの報告あり。 [噴射剤]分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: [アセトン] 眼刺激 [噴射剤]分類できない
呼吸器感作性	: [アセトン] 分類できない [噴射剤]分類できない
皮膚感作性	: [アセトン] 分類できない [噴射剤]分類できない
生殖細胞変異原性	: [アセトン] 区分外 [噴射剤]分類できない
発がん性	: [アセトン] 区分外 [噴射剤]分類できない
生殖毒性	: [アセトン] 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い [噴射剤]分類できない
特定標的臓器・毒性 (単回暴露)	: [アセトン] 呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ [噴射剤]分類できない
特定標的臓器・毒性 (反復暴露)	: [アセトン] 長期または反復の暴露による臓器(血液)の障害のおそれ [噴射剤]分類できない
誤えん有害性	: [アセトン] 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ [噴射剤]分類できない

12.環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : [アセトン] 魚類（ファットヘッドミノー）の96時間LC50=100 μ g/L。区分外。
[噴射剤]分類できない
- 水生環境慢性有害性 : [アセトン] 難水溶性でなく（水溶解度：1.00 \times 10⁶mg/L）、急性毒性が低いことから
区分外とした。
[噴射剤]分類できない
- オゾン層への有害性 : [アセトン] 分類できない
[噴射剤] 分類できない

13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の基準に従い廃棄をおこなうか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体はその処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。
エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。
エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気の無い戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。
また、火気及びミストの吸入などについて注意すること。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準にしたがって適切な処分を行なう。

14.輸送上の注意

- 陸上輸送 : 消防法・労働安全衛生法等に基づき積載、輸送を行う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に基づき積載、輸送を行う。
- 航空輸送 : 航空法等に基づき積載、輸送を行う。
- 国連分類・番号 : 1950
- MARPOL 73/78 付属書II及び
IBCコードによるばら積み輸送
される液体物質 : 該当しない。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15.適用法令

- 消防法 : 危険物第4類第1石油類（水溶性液体）
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない。
- 労働安全衛生法 : 表示対象物質含有：アセトン、n-ブタン、イソブタン
通知対象物質含有：アセトン、n-ブタン、イソブタン
危険物：引火性のもの
有規則：第2種有機溶剤
- 化学物質管理促進法(PRTR) : 改正政令(平成20年11月21日公布)に該当しない。
- 高压ガス保安法 : 適用除外項目対象

16.その他の情報

- 参考文献 : 1) 日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」
2) 日本塗料工業会編集「MSDS作成ガイドブック」
3) 各メーカー製品安全データシート

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、個々の取扱い等の実態に応じて適切な使用条件を設定くださるようお願いします。